

プロジェクト計画特論 1

(Project Planning 1)

種別・単位：講義・2単位（集中講義）

開 講 期：前期

担 当 者：酒森 潔，PMP（PMI東京支部）

泉澤 聖一，PMP（PMI東京支部）

大砂古佳基，PMP（PMI東京支部）

井上 雅裕，PMP（PMI東京支部）

主題と目標

プロジェクトマネジメント・プロセスにおける立上プロセスから、スコープ計画、スコープ定義、WBS作成、アクティビティ定義、アクティビティ順序設定、アクティビティ資源見積り、アクティビティ所要期間見積り、スケジュール作成、コスト見積り、コストの予算化プロセスまでの考え方や手法を具体的に学び、以下の目標を達成する。

- 1 PMBOK第3版で定義された立上からコスト予算化プロセスまでの内容を理解する。
- 2 ITプロジェクトにおいて実践的なプロジェクトマネジメント計画書が作成できる。

授業計画（項目、授業実施回数、内容）

項 目	回	内 容 説 明
プロジェクトの立上	2	立上げプロセスの全体像（ニーズ、代替案、フィージビリティスタディ、ソリューション選定、プロジェクト・マネジャー任命、主要メンバー選定、プロジェクトオフィス設置）、プロジェクト選定の方法論、プロジェクト憲章、SOW、スコープ記述書暫定版
スコープ・マネジメント	2	スコープ・マネジメントの概要、Work Breakdown Structure (WBS)、Microsoft Office Project等によるWBS作成方法、スコープ計画、スコープ定義、スコープ記述書、スコープ検証、スコープ変更管理
計画特論1 演習①	2	「研究プロジェクトマネジメント計画書」をベースにプロジェクト憲章、WBSを作成し、討議と発表を実施する
タイム・マネジメント	4	スケジュール・ツールの歴史と種類、PMBOK内容とPMIS、アクティビティ定義&要素分解、アクティビティ依存・順序関係、資源見積り、期間見積り、ネットワーク解析/CPM、PERT、シミュレーション、期間短縮、資源平準化、ベースライン&進捗測定、スケジュール・マネジメント計画書、三点見積りとシミュレーションにおける確率分布の考え方、クリティカル・パス法とクリティカル・チェーン法の違い
コスト・マネジメント	2	コスト見積り、類推見積り、ボトムアップ見積り、係数見積り、コストの予算化、スケジュール・アクティビティやワーク・パッケージ、ITプロジェクトのコスト管理に関するツールや手法
計画特論1 演習②	3	計画特論1 演習2の結果をベースに、スケジュール・コスト関連のプロジェクト計画を作成し、討議と発表を実施する

評価・教材・受講条件等

《評価》 課題（毎回の課題レポートと出席率で70%を評価する。残りの30%を期末試験に代えて、演習①・演習②でのプレゼンテーション発表で評価する。）

《教材》 講義用教材：基本テキストは電子媒体にて随時提供する。

補足教材：プロジェクトマネジメント知識体系（PMBOK）ガイド 第3版（必須）

《受講条件等》 プロジェクトマネジメント特論を受講済みで、プロジェクト計画特論2、プロジェクト運営特論も合わせて受講すること。